

2021年度 発達ネウボラプロジェクト

発達支援室 訪問研修事業

令和3年9月13日に、浪岡養護学校校内研修会にて訪問研修を行いました。

発達特性を有する児における 地域・多職種連携について (当院の試み)

国立病院機構 青森病院
小児科 品川友江

「発達特性を有する児における 地域・多職種連携について(当院の試み)」というテーマで、オンラインの講演を行いました。当院の小児科外来での診療の概要に続いて、発達支援室で立ち上げた「青森病院 発達ネウボラプロジェクト(ANP)」の取り組みについてお話しさせていただきました。

これまで実施してきた、「ペアレント・プログラム」、「アンガーマネジメント キッズ講座」、「ペアレント・トレーニング講座」について、そして2019年に立ち上げた「浪岡地域 医療・教育・福祉 合同カンファレンス(小学校) <JOCS>」についてお話しさせていただきました。JOCSは、はじめこそ対面式で実施しておりましたが、コロナ禍になって以降はオンラインで継続し、2021年度からは、それまでの年3回から年4回へ回数を増やして実施予定となっており、地域の教育分野・福祉分野・医療分野の担当者が一堂に会して子ども達のことを考える、情報共有する、充実した時間になっています。今後の企画として、学校へ出向して「アンガーマネジメント講座」や「ティーチャーズ・トレーニング」を実施することを提案させていただきました。

後半は、事前アンケートへの質問に答える形で、医療が学校と連携する際にどのような情報を求めているか、告知の概要やタイミングについて、等についてお話しさせていただきました。

今後も地域の子ども達を支える方々と協力・連携して子ども達をサポートしていければと思います。

文責 品川